

主題：命の木

メッセージ 13

生ける水の源泉

聖書：エレミヤ 2:13. 詩 36:8-9. ヨハネ 4:14. 7:37. 啓 22:17

I. 「わたしの民は二つの悪事を犯したからである。彼らはわたし、この生ける水の源泉を捨てて、自分たちのために水ため、水をためることがない壊れた水ためを掘ったのだ」——エレミヤ 2:13 :

A. 神のエコノミーにおける意図は、生ける水の源泉、源となって、彼の選ばれた民を満足させ、彼らの享受となることです :

1. この享受の目標は、神の増し加わり、神の拡大としての召会を生み出して、神の豊満とならせ、彼を表現することです——エペソ 1:22-23。
2. 神は彼の選民にとって生ける水の源泉となる必要があります。なぜなら、神にはエコノミーがあるからです。彼のエコノミーとはご自身のために配偶者、花嫁を生み出すことです——ヨハネ 3:29 前半. 啓 19:7-8。
3. 神のエコノミーは、生ける水としてのご自身を分与して、彼の増し加わり、彼の拡大を生み出して、彼を表現することです——コロサイ 2:19。
4. 生ける水の源泉としての神から離れて何も、わたしたちの渴きをいやし、わたしたちを満足させることはできません。わたしたちの存在の中へと分与される神から離れて何も、わたしたちを彼の増し加わりとならせ、彼を表現することはできません——ヨハネ 4:13-14. 7:37. 啓 22:17。
5. 神の意図は、彼の選ばれた人々にとってすべてとなり、彼らがすべてのことで彼に信頼し、彼に依り頼むことです。彼らはこれを行なうなら、神の分与を受けます——エレミヤ 17:7-8。

B. 神の意図は、ご自身を人の満足として人の中へと分与し、神が拡大されることですが、人は不忠信になり、不貞になって、偶像のために神を捨てました—— 2:13 :

1. アダムが墮落したのは、命の木を捨てて、別の木、すなわち善悪知識の木に向かうことによってです——創 2:9, 16-17. 3:1-13。
2. イスラエルが墮落したのは、生ける水の源泉としての神を捨てて、神以外の別の源に向かうことによってです。この源は水ためによって表徴されています——エレミヤ 2:13。

C. 罪とは、神を捨てて、自分自身で自分自身のために何かを行なうことです。これがまさしく、イスラエルの子たちが行なったことでした—— 13 節 :

1. 彼らは、彼らの供給のための生ける水の源泉としての神を捨てました。
2. 彼らの意見によれば、彼らは自分の享受のために自分で何かを成し遂げることができることは何であれ、行ないました。

D. イスラエルは自分の忠信を守るのではなく、背信を実行しました—— 19 節 :

1. 背信とは、神の道を離れて別の道を取り、神以外のものに従うことです——使徒

9:2. 18:26. II ペテロ 2:2, 15, 21. ユダ 11 節 :

- a. 背信とは、神に従うことで正しい道からそらされることを意味します。
 - b. 背信は、神を礼拝するという口実の下で、自己のために何かを行なうことです。
2. ダンの背信は、分裂的な礼拝の中心を据えることでした——士 18:30-31. 17:9-10.

列王上 12:26-31. 列王下 10:29 :

- a. 旧約の歴史を通して、分裂的な礼拝の中心を据えるというダンの行動以上に罪深く、神の民を駄目にするものはありませんでした。
- b. ダンの背信の源は、他の部族を顧慮しないことにありました。からだの他の部分を顧慮しないことは背信の源です。

II. 「あなたと共に、命の源泉があり」——詩 36:9 前半 :

A. 主の回復は、第一に命の事柄に対する回復です—— I ヨハネ 1:1-2。

B. 神聖な命は、第一の、基本的な神の属性であると考えられます——エペソ 4:18. ヨハネ 5:26. I ヨハネ 5:11-12. ローマ 8:2 :

1. 神の命の神聖で、永遠の性質によれば、神の命は唯一の命です。神の命だけが命として勘定されることが出来ます——ヨハネ 1:4. 10:10 後半. 11:25. 14:6。
2. 命は、神の内容であり、神の流れ出です。神の内容は神の存在であり、神の流れ出はご自身を命としてわたしたちに分け与えることです——エペソ 4:18. 啓 22:1。
3. 命は、キリストであり、命はキリストがわたしたちの中で生き、わたしたちから生かし出されることです——ヨハネ 14:6. コロサイ 3:4. ガラテヤ 2:20. ペリピ 1:21 前半。
4. 命は、聖霊です——ヨハネ 14:16-17. I コリント 15:45 後半. ローマ 8:2. II コリント 3:6。
5. 命は、三一の神がわたしたちの中へと分与され、わたしたちの中で生きることです——ローマ 8:10, 6, 11。

C. 神はわたしたちが彼をわたしたちの命とわたしたちの存在の源泉、源とすることを願っています——エレミヤ 2:13. 詩 36:9 前半 :

1. 神のエコノミーにおいて、神はご自身の選びの民にとって生ける水の源泉、彼らの生活の唯一の源です。
2. 聖書は神があらゆる面で源であることを見せています。聖書における原則とは、神はご自身の選びの民が彼以外のどんなものも源として取ることを願っていないということです——ローマ 11:36. I コリント 8:6. マタイ 15:13。

D. 三一の神は手順を経て、究極的に完成されており、ご自身をわたしたちの存在の中へと分与します——ヨハネ 7:37-39. ローマ 8:11 :

1. 神のエコノミーは、ご自身をわたしたちの存在の中へと分与することであり、それによってわたしたちの存在は彼の存在で構成されることが出来ます。このことは神がご自身を神聖な命としてわたしたちの中へと入れることによるのみ完成されることが出来ます。
2. ご自身を命としてわたしたちの中へと分与することによって、神は永遠にわたってご自身の団体の表現を得るというご自身の願いを成就します——啓 21:9-10. 22:1。

E. わたしたちは生ける水の源泉としての神から飲む必要があります。それによって神は増し加わって彼のエコノミーを成就し、彼の配偶者を通して彼の表現を得ます——エレミヤ 2:13. I コリント 12:13 :

1. わたしたちが生ける水の源泉としての神から飲むとき、彼はわたしたちと一となり、わたしたちは彼と一となります——詩 36:8-9。
2. わたしたちが神から飲めば飲むほど、ますます彼はわたしたちと一となり、ますますわたしたちは彼と一となり、彼の命と性質において彼で構成されます。

© 2016 *Living Stream Ministry*